

第2章 基本理念と緑の将来像

- 1. 大牟田市の緑を構成する要素 44
- 2. 目指す緑のまちづくりの姿 45
- 3. 基本理念と緑の将来像 47



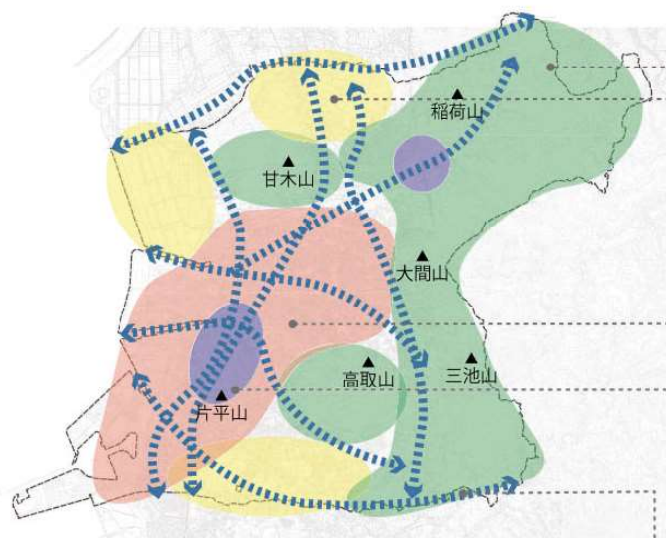
みんなの公園サポーター制度

公園愛護に対する市民意識の高揚を図るとともに、市民との協働によるまちづくりを推進するため、都市公園等における環境美化及びマナー啓発等のボランティア活動を支援するための制度です。

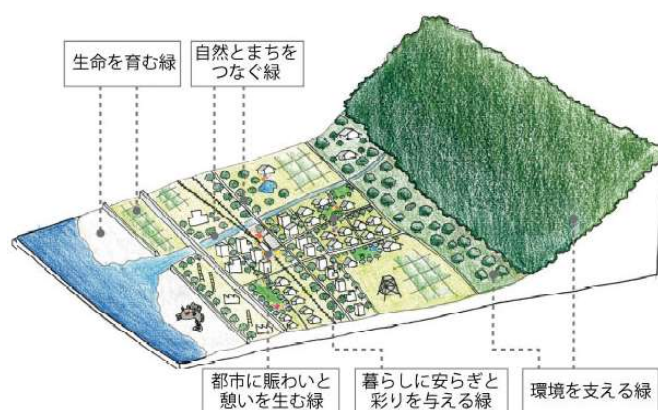
第2章 基本理念と緑の将来像

1. 大牟田市の緑を構成する要素

本市のもつ地理的・地形的特徴や、これまでの緑に対する取組みの歴史、緑の現状等を踏まえると、本市は以下の5つの緑で構成されていると考えます。



大牟田市を構成する緑



大牟田市を構成する緑（イメージ）

環境を支える緑

- 豊富な自然環境が守られているゾーン
- ・緑の骨格をなす三池山や大間山等の山々
 - ・甘木山から黒崎地区にかけての丘陵地
 - ・延命公園等の市街地近郊のまとまった緑

生命を育む緑

- 生産活動の場であるとともに生物の生息生育空間であるゾーン
- ・山裾から都市周辺にかけて広がる農地
 - ・埋め立てにより干拓された農地
 - ・有明海の干満がもたらす干潟

暮らしに安らぎと彩りを与える緑

- 日常生活や社会生活を営むゾーン
- ・住宅地の生垣や庭
 - ・身近な公園
 - ・商業地や工場地等の植栽

都市に賑わいと憩いを生む緑

- 中心市街地や駅前等、本市の顔となる交流結束ゾーン
- ・中心市街地
 - ・新大牟田駅周辺
 - ・延命公園

自然とまちをつなぐ緑

- 上記4つのゾーンをつなげ、相互に補完し、充実させる要素
- ・街路樹、植栽帯
 - ・河川

これら5つの緑を市民・企業・行政等の協働により守っていきます。（みんなで支える緑）

2. 目指す緑のまちづくりの姿

本市の緑を構成する要素を踏まえ、本市が目指す緑のまちづくりの姿を3つにまとめました。

豊富な自然環境を保全し、人と自然が共生するまちをつくります。

多様な生物の生息・生育空間が確保されています。

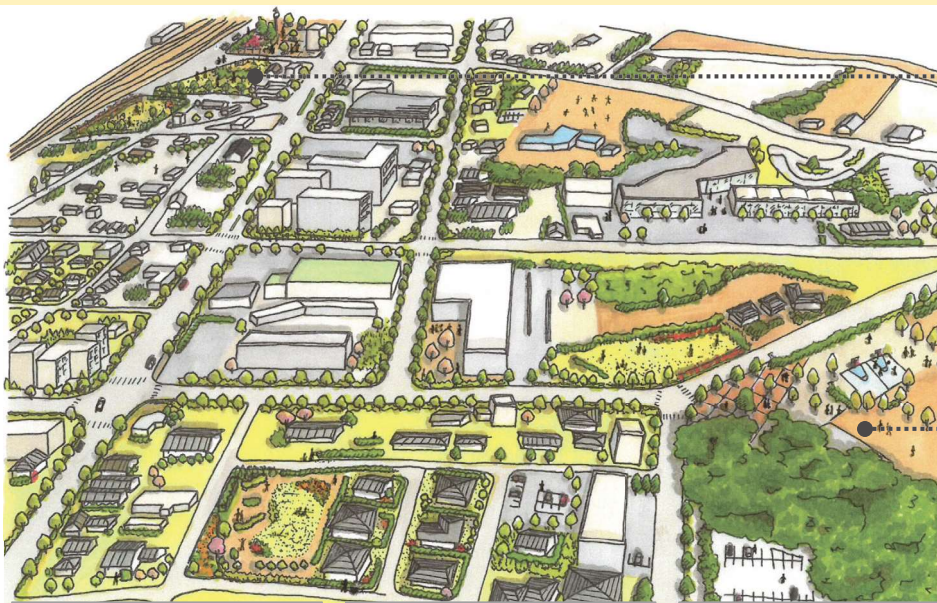
森林の管理が適切になされ、環境保全や防災に寄与する緑が保全されています。



市民や来訪者が、生き物観察会等環境教育の場や、散策等自然とのふれあいの場として緑を活用しています。

農地や果樹園で野菜作りや果物狩り等の農業体験が楽しまれています。

緑資源を有効に活用し、魅力あふれるまちをつくります。



選択と集中の考え方を踏まえ、コンパクトな都市構造と整合した緑の演出がなされています。

J R・西鉄大牟田駅、中心市街地周辺及び新大牟田駅周辺に設定した緑化重点地区内の緑化が充実し、都市の顔としての緑豊かな景観形成がなされています。

街路樹による緑陰やまちなかに存在する様々なオープンスペースの緑化により、心地良い緑豊かな街路空間が形成されています。

地域の特性に応じた身近な公園が整備され、住民が力を合わせて管理運営しています。

大規模な公園は、スポーツやレクリエーションの場として市内外から多くの人々が訪れ、様々な活動に利用されています。また、緊急時の避難の場、救護活動の拠点となる等、地域づくり拠点公園として位置付けられ、多面的機能を発揮しています。

緑とふれあい地域で支え合うまちをつくります。

緑の管理について高齢化等の理由から担い手不足が懸念される中、市民・企業・行政等の協働による緑化活動がより推進され、自ら行動する人の輪が広がっています。

公園の利活用の推進に向けた民間活力の導入や、話し合いの場の提供等多様な場や機会が設けられています。

少子高齢化に伴い市民ニーズが多様化する中、身近な公園がふれあいの場となり、イベントや災害時等においても支え合える地域コミュニティを育んでいます。



3. 基本理念と緑の将来像

(1) 基本理念

みんなではぐくむ 緑と花のまち おおむた

～緑を守り、活用し、共に生きる～

緑は良好な景観を形成し、都市の気象緩和や生物の生息・生育空間の保全に資するとともに、災害時の安全性を向上させ、市民が身近に親しめるレクリエーションや自然とのふれあいの場をつくり出す等多様な機能を有しています。このように緑が持つ機能は、快適な生活環境を創出し、全ての人々にゆとりやうるおい、健康で快適な文化の香り高い生活をもたらします。また、緑は人々の五感に無意識に作用し、癒しの効果を誘発する機能を兼ね備えており、私たちが生きていく上で欠かせない大切な美的価値ある環境財産であります。

本市を取り巻く環境は、東部に緑の骨格をなす三池山、大間山等の山々やその端部には丘陵地が形成され、本市西部の有明海沿岸に向かい平坦な地形が広がっており、山と海に囲まれる恵まれた環境にあります。

これまで本市では「みんなでつくろう 緑と花のまち おおむた」を基本理念とし、量的な緑の整備を進め、一定の成果をあげてきました。また、市民参加機会を設け、市民と共に緑と花のまちづくりを推進してきました。一方で、管理が不十分で緑の質が低下し、本来の役割を果たせていない状況も見受けられます。

これからは、人口減少社会を踏まえ、今までつくってきた公園をはじめとする既存の緑を活かし、本市の魅力を高め、持続可能な都市へと展開していくことが必要です。

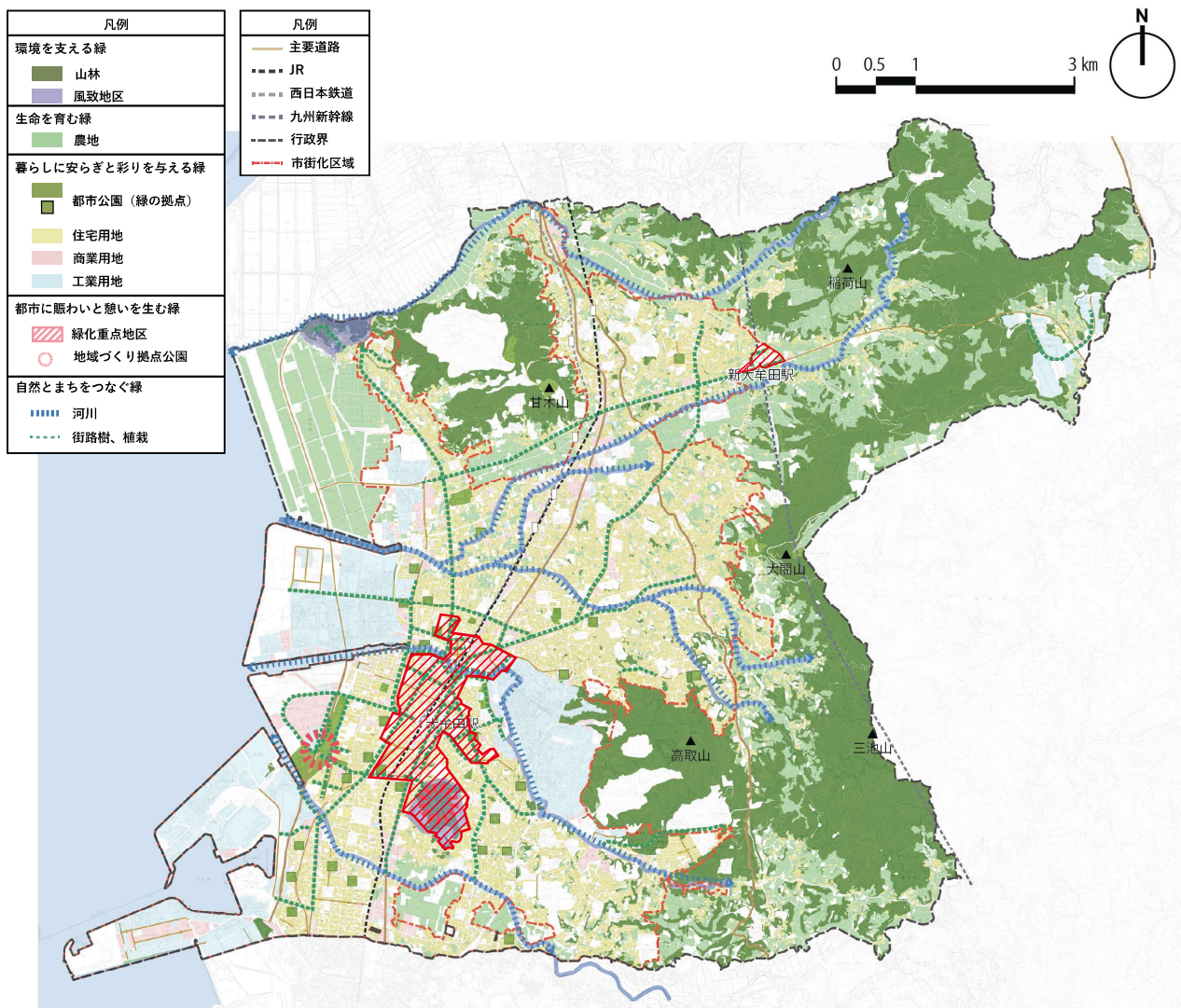
そこで、市域を包み込む豊かな緑と多種の幸をもたらす海を市民共有の財産として守り、活用し、市民※、企業、行政等による適切な役割分担と相互の連携や協力を図りながら緑と共に生きる取組みを進めます。そして、ユニバーサルデザインの視点に立ち、高齢者から子どもまで市民一人ひとりに健康で快適な文化の香り高い生活をもたらす自然と調和した都市空間づくりを基本理念として掲げ、『みんなではぐくむ 緑と花のまち おおむた』の実現を目指します。

※ 市民とは、市民、校区まちづくり協議会、生涯学習・社会福祉協議会ボランティア等と定義します。



(2) 緑の将来像

- 市東部の三池山や大間山等を中心とする山林や、甘木山から黒崎にかけての丘陵地、さらに延命公園等の市街地近郊のまとまった緑は「環境を支える緑」として適切に守っていきます。
- 山裾から都市周辺にかけて広がる農地や、市西部の有明海沿岸を干拓された田園地帯は「生命を育む緑」として適切に保全します。
- 都市公園を始めとした緑の拠点では、スポーツに励んだり、地域住民のふれあいの場として「暮らしに安らぎを与える緑」として活用します。また、住宅地や商業地、工業地においても、周辺と調和した生け垣や花壇があり、育てる人々の個性があふれ「暮らしに彩りを与える緑」として整備します。
- 商店・オフィスの並ぶ中心部や駅周辺では、プランター等の花や緑が「都市に賑わいと憩いを生む緑」として魅力向上につなげます。また、特色のある大規模公園は、地域づくりの拠点として、市内外から多くの人々が来園し、賑わいと活気に満ちています。
- 山から海をつなぐ河川や道路の街路樹、点在する公園・緑地等の緑が連続し「自然とまちをつなぐ緑」として、緑の機能を効果的に発揮します。



緑の将来像